

訓練部

訓練部長 佐藤 義磨

全国消防操法大会に、「魚沼市消防団が出場していたら…」と仮定しながら各都道府県代表隊の操法を視察してきました。『全国大会』が決して遠くないと思いつつ、改めて支会大会・県大会と勝ち抜く難儀さを感じました。

この“感覚”をどう訓練活動に繋げられるかと思いつつ、春季演習や出初式での「各個訓練」の必要性も感じ、「消防操法技術」と「各個訓練」が災害時の危険からわが身を守る大切な訓練であることを再認識した一年でした。

技術部

技術部長 森山 久

本年度は、例年行っている訓練、講習会に加えて一昨年に発生した糸魚川大火を教訓に、消防本部と連携し住宅街を想定した実践的な消火訓練を夏場と冬場の2回行いました。

民間企業のコンクリートミキサー車から水槽への補水、小型ポンプを繋いでの中継送水と今まで体験できなかった訓練をすることができました。今後も訓練、講習等を通じてより多くの団員から体験してもらえよう活動をしていきたいと思っています。

予防部

予防部長 坂大 修

予防部では、予防消防の充実を目指し、各地区の消防団で毎月1日・15日に定期的に防火広報を実施しています。冬期間は暖房器具等により火を多く使います。各ご家庭において今一度危険な取り扱いをしないよう心掛けて下さい。

また、今年度は救命講習にも力を入れ活動してきました。魚沼市消防団では救命講習の講師資格を有する「応急手当普及員」が18名在籍しており、多くの団員に普通救命講習を実施し救急救命の重要性を理解してもらっています。ご近所で消防団員を見かけたら温かいご声援をよろしく願っています。

広報部

広報部長 佐藤 貴浩

早いもので、広報部長となり2年が経ち、今年度は広報部員が協力しあい様々な活動写真を撮影し、団だより、チラシ等もスムーズに出来たと思います。これからも広報活動を行いながら、消防団活動を発信していきます。

ラッパ隊

ラッパ隊長 鈴木 康彦

昨年は7月に西日本豪雨、9月には北海道にて震度7の地震が発生し、全国的に大きな自然災害が起きました。幸い魚沼市は大きな災害はありませんでしたが、何時発生するかわかりません。

ラッパ隊としても災害時には一般団員と同じ活動を行います。通常月は広報活動に参加しておりますが、仕事の関係でなかなか参加できないのが現実です

新年度に向けて体制を整え頑張りたいと思いますので、今後ともよろしく願っています。

女性部

女性部長 内田 美保

出初式から始まり、春秋の予防広報パレード等各種行事のアナウンス、毎月二回の点検・広報を行ってきました。また、昨年は男性団員と合同で支会の幹部訓練にも参加しました。

女性部は予防広報を主に活動しています。子どもたちの会や地域のお茶会などでパネルシアターを使って皆で考える防災、火災予防のお話をさせていただき、地域の皆さんと一緒に火災の原因について意見交換をしたり、消防本部予防課からお話もして頂いて一緒に勉強させていただきました。

現在女性部員は13名です。新たな年を迎え、一緒に活動して頂ける仲間を募集しております。

お気軽にお問い合わせください。



パネルシアター

火の用心

魚沼市消防団は「予防消防」を意識し活動しています。火災発生件数0件を目指す私たち魚沼市消防団といたしましては、更なる役割や活動内容の検討などを考えていかなければならないと思うとともに、市民一人ひとりの防災意識の更なる向上が何よりも「予防消防」に繋がると考えています。

何卒ご協力のほど宜しくお願いいたします。

魚沼市消防団だより

発行:魚沼市消防団 2019.3.10 第32号

魚沼市消防団 Q 検索 消防団 HP へ

～火事・救急・救助は119番～ 消防団に関するお問い合わせは、消防総務課 TEL 792-0765 まで

火は消した? 家族を救う 合言葉

小出小学校6年 今村 莉央

年頭のあいさつ

団長 岡部 誠



新年、あけましておめでとうございます。

昨年一年間、消防団活動に対して市民の皆様からご理解、ご協力、ご支援を頂き、誠にありがとうございました。

昨年は火災発生件数が一昨年に比べ4件増の15件発生いたしました。建物火災は3件減の6件、林野・車両・その他火災は7件増の9件となりました。消防団として本年も引き続き火災防止の広報活動に重点を置き、各地域での予防広報を行わせていただきますので、皆様からご理解、ご支援をお願いいたします。

今年に入り県内外において市街地での大規模火災が発生しております。魚沼市消防団では2回実施した昨年同様の木造密集地火災想定訓練を次年度も消防本部と連携して行う予定です。

市民の皆様生命・身体・財産を守ることを団員一同心に留めて活動いたします。魚沼市の本年1年が災害や火災のない穏やかで明るい年となりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

平成30年度 魚沼市消防団 事業報告

6月17日(日)

北魚沼地区支会ポンプ操法競技会 小千谷市白山運動公園

魚沼市消防団からはポンプ車の部は6分団が、小型ポンプの部には第2方面隊、4分団、10分団の4隊が出場しました。県大会には進めませんでしたが、健闘しました。



7月8日(日)

魚沼市総合防災訓練(合同訓練)

小出小学校が会場で行われ、消防団はミキサー車からの補水による放水訓練、※水幕ホースによる火災防ぎょ訓練を実施しました。

※水幕ホースは、ホースを通水加圧すると、等間隔に設けられた水幕ノズルから高圧水が噴射され、高い広範囲の水幕が形成されます。この水の水幕が、火災による輻射熱や炎、煙を遮断することで、隣接する建築物への延焼を防ぎ、避難路を確保できます。



11月25日(日)

木造密集地火災想定訓練(合同訓練)

小出地区南本町で木造密集地火災想定訓練が行われました。消防署と連携しての放水訓練と水幕ホースによる放水訓練が行われ、住宅密集地での技術に関する個々のスキルアップを図るための訓練を実施しました。



7月14日(土) 支会役員及び団幹部研修会



日本最長の山岳道路トンネル「関越トンネル」の裏側を支会役員及び団幹部で視察してきました。

普段入ることができない、事故やトンネル火災などで使用する非常時用の避難坑を車で通行し、軟水の湧き水「谷川の六年水」試飲や地下換気所、電気室、送風機を見学しました。

この日の最高気温は32℃の真夏日。避難坑深部の気温は常に12℃ほどと肌寒く上衣が必要でした。

11月4日(日) 秋季火災予防広報パレード

秋季火災予防パレードと機械器具点検を市内全域で実施しました。有事に備え器具の点検を行い、広報活動では火災予防を呼びかけました。皆様も火災予防にご協力をお願いします。



31年1月6日(日) 消防出初式

小出本町通りにて恒例の年頭行事「消防出初式」を挙行了しました。

緊張感漂う団長観閲、署・団の連携のとれた指揮本部運営のもと中継送水や延焼を防ぐ水幕放水、伝統ある木遣り・纏振り、ラッパ吹鳴に合わせた分列行進・車両パレードを行いました。

また、会場を小出郷福祉センターに移した式典では各種表彰伝達を行い、そのあと清水川辺神社にて安全祈願のお祓いを受け1年間の無災害を祈念しました。



31年1月26日(土) 文化財防火デー 目黒邸

雪の舞う中、文化財防火デーに伴う消防訓練が守門地区「目黒邸」で行われました。

目黒邸から出火との想定で始まり、消防署・消防団による放水訓練を実施しました。悪天候でしたが、的確な連携がとれた放水訓練でした。



消防戦隊 ウオヌマン

皆様の地域のイベントに
出動します!

★「消防戦隊ウオヌマン」のお問い合わせは、
消防団係 ☎792-0765



女性消防団員大募集!
私たちと一緒に消防団活動に参加しませんか
〜求めています。そのちから〜



◆ 第1方面隊 堀之内地区

日頃より団活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。「予防消防」「安全管理の徹底」を重点目標として活動してきました。今年度の当地域において、火災5件(建物1、林野2、車両2)が発生しております。なお一層の予防活動を展開していく所存です。市民の皆様におかれましても火の取扱いには十分ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。なお、住宅用火災警報器は、10年を目安に交換をください。

今後も引き続き災害のない堀之内地区を目指して活動していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

第1方面隊長 渡邊 幸也



◆ 第2方面隊 小出・湯之谷地区

「火災を出さない!」を目標に1日・15日の点検日には予防広報活動、機械器具の点検に取り組みました。

今年度は7月に「魚沼市総合防災訓練」(佐梨)、11月に消防本部との合同訓練「魚沼市木造密集地火災想定訓練」(南本町)に参加し延焼防止に使用する水幕ホースの技術習得向上に努めました。

また、6月に開催された「北魚沼地区支会ポンプ操法競技会」にはポンプ車1台、小型ポンプ2台が出場し、春先からの練習の成果を十二分に発揮しました。

最後に、地域の皆様も日頃からの「火の用心!」をお願いいたします。

第2方面隊長 姉崎 年之



方面隊通信

◆ 第3方面隊 広神地区

今年度、第3方面隊では予防広報に重点を置いた活動を行いました。毎月1日、15日の広報や春秋の予防広報活動を行った結果、火災発生は0件でした。多少なりとも予防広報活動の効果があつたのではないかと感じ、今後も継続していきます。

しかしながら、消防団活動への参加人員の減少という現状があります。これを改善しなければ有事の際、活動が出来なくなってしまいます。

消防団員の皆さん、訓練しない参加しないでは有事の際には活動が出来ません。地域防災の要となるよう、協力し合いながら活動をしていきましょう。

今後も、地域の皆様から信頼していただける消防団となるよう、努めてまいります。

まだまだ寒い日が続きますので、火の元には十分注意して下さい。

第3方面隊長 桜井 雅博



◆ 第4方面隊 守門・入広瀬地区

本年度、守門・入広瀬地区において3件の建物火災と1件の林野火災が発生しました。大変残念な事ではありますが、火災にあわられてしまった方については、その胸中とその後のご苦勞には計り知れないものがある事と思います。私達も消防団員としてその火災の現場に幾度か立ち会ってきましたが、その度に目に焼き付くその光景と体に染みつく特有の匂いに何とも言い難い切ない気持ちになってしまいます。決して誰しもが意図して発生させる火災ではないのですが、本当に些細な不注意が生涯取り返しのつかない大きな損失に繋がってしまうという事を消防団の経験からも強く感じております。今は死語になりつつありますが「マッチ一本火事の元」という言葉があります。正にこの言葉が全てではないでしょうか。火災は天災と違い私達の意識一つで絶対に防げるものだと思います。

消防団員である私達自身も改めて高い意識をもって火災を出さない地域づくりに貢献していかなければならないと感じております。

第4方面隊長 橋 尚登

